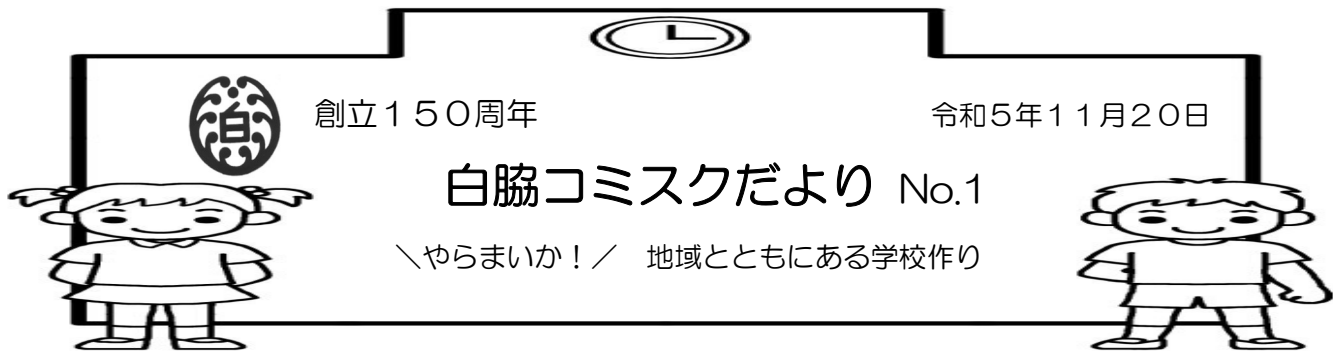




●本年度より白脇小学校でコミュニティスクールが始まりました。

コミュニティスクールとは？

コミュニティスクールは、学校運営協議会を設置している学校のことをいいます。学校長が推薦し浜松市教育委員会が任命をした地域住民や保護者の代表が委員となり、学校の目標や課題を学校と共に熟議・共有し、学校の運営に取り組むことで、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく活動です。

学校支援コーディネーターとは？

学校運営協議会での話し合いを受け、学校の運営に必要な支援をするために、学校と地域をつなぎます。地域のみなさんによる学校支援活動を推進します。

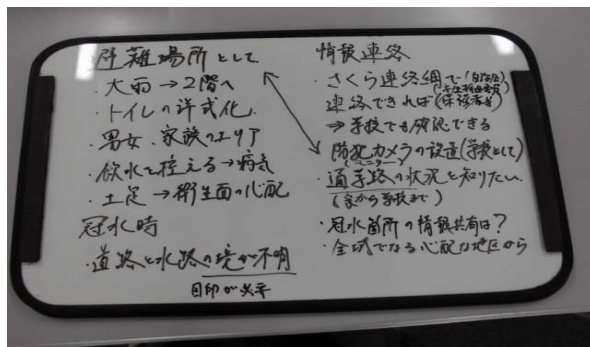
本年度の学校運営協議会委員を紹介します。

- 会長 田口 博(白脇地区社会福祉協議会会長)
- 副会長 鶴屋 義照
- 柳川 樹一郎(浜松市議会議員)
- 清水 哲夫(白羽町自治会長)
- 外波山 裕康(民生児童委員副会長)
- 鈴木 真智子(令和4年度 PTA 会長)
- 望月 真菜(令和5年度 PTA 会長)



●第2回学校運営協議会を開催しました。

今回は、1) 教育活動の実情から考えられる児童への支援策について、2) 防災面から考えられる児童への支援策について学校運営協議会の皆様と意見の交換をしました。



●CS学校ボランティア

今年度、「地域と共にある学校づくり」の中で、保護者の方々に御参加いただいています。



○1年生 朝顔リース作り○

9月22日、25日に約30名の保護者に御参加いただいて子供たちと一緒に支柱からつるを外したり、リングの形に整えたりする支援をしていただきました。

＜参加保護者の声＞

- ・子供たちが一生懸命活動する姿を間近で見られて嬉しかった。
- ・家庭とは違った子供の一面を見ることができた。子供たち同士も友達を気遣っていて素敵でした。
- ・他の児童と顔見知りになり、他の行事でも子供たちが声を掛けてくれるようになった。



○5・6年生 家庭科ミシン実習○

9月から10月にかけて5・6年生の保護者に、家庭科のミシン実習を支援していただきました。

＜参加保護者の声＞

- ・裁縫の指導は先生お一人では負担が大きいということを知りました。目の届かない部分をサポートできて良かった。
- ・子供たちの中に入って一緒に考えたり取り組んだり、普段に近い姿を見ることができて良かった。
- ・同じクラスの保護者の方とも知り合いになれて良かった。



○1年生 球根植え・パンジー植え○



11月1日、26名の保護者に御参加いただいて、チューリップの球根とピオラの苗を植木鉢に植える活動の支援していただきました。

＜参加保護者の声＞

- ・学校行事に携わることができるのはとても良い経験だと思いました。
- ・授業の活動の中だけでなく、移動時間やちょっとした待ち時間の様子が見られて良かった。
- ・参観会よりも参加型なので、より近い距離で子供やお友達の様子を知ることができて良かった。もっと機会を増やしてほしい。



今後も学校教育活動の中で、ボランティアをその都度募集させていただきます。
お時間に御都合がつく方は是非、御参加ください。よろしくお願いいたします。